

別記様式

議 事 録

会議の名称	第5回 岩倉市公共施設再配置計画検討委員会
開催日時	平成31年2月22日(金) 10時から11時30分まで
開催場所	地域交流センターくすのきの家 ふれあい交流ホール
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：秀島委員長、木本副委員長、大野委員、伊藤委員、池山委員 平松委員、水越委員、井上委員、増田委員 欠席委員：木村委員 説明者：都市整備課長、学校教育課長、子育て支援課長、都市整備課 営繕グループ長及び係 コンサルタント：中央コンサルタント
会議の議題	(1) パブリックコメントの実施結果について (2) 今後の検討体制等について
議事録の作成方法	<input type="checkbox"/> 要点筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ()
会議に提出された資料の名称	・資料1 「岩倉市公共施設再配置計画(案)」パブリックコメント実施結果 ・資料2 「岩倉市公共施設再配置計画(案)」に対するご意見と市の考え方(対応一覧) ・資料3 2019年度以降の計画の推進体制について
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)	
1 開会	都市整備課長よりあいさつがされた。
2 議事	(1) パブリックコメントの実施結果について 資料1 「「岩倉市公共施設再配置計画(案)」パブリックコメント実施結果」を基に事務局より説明 委員長：保育園に対する意見が多く出ている様子であるが、公立保育園適正配置方針についても本計画の内容に大きく影響を与えていることから、パブリックコメントを実施した方が良かったのではないかと思われる。 委員：これだけ保育園に関して意見が多い状況であるが、本当に統合を実施するのか。

事務局：将来的な園児数の減少を考慮すると、現在の位置にそれぞれの施設をそのままの形で建て替える事には検討の余地があると考えられる。実施にあたっては、市民等と対話しながら進めていかなければ実現は難しいが、公立保育園適正配置方針に基づいて、市としては実施していく方針を示したいと考えている。

委員：保育園に関する意見が多いということは、それだけ地域の人々のレベルが高いことの裏返しである。保育行政もこれだけの意見が出るのであれば目玉事業となると思う。0歳児保育も近隣の地域に比べ岩倉市は早い段階で実施したと聞いている。岩倉市独自のスタイルを出していくのも岩倉市に人が増えるための取り組みである。今後も市民の意見を聞いてほしい。

委員：市民プラザの複合化等の件については、まだ検討段階ということか。

事務局：場所は駅に近い現在の位置が良いと思われるが、駐車場不足という問題を抱えている。公園をなくせばいいのではという意見もあったが、岩倉市の市民一人あたりの公園面積は県下でも低い状況にあり、公園を増やさなければならないという面もある。複合化を実施するとして立地としてはどこがよいのか、今後検討する必要があると考えている。

(2) 今後の検討体制等について

資料3「2019年度以降の計画の推進体制について」を基に事務局より説明

委員：市の今後の検討体制について、次のステップでの具体的な内容が見えてこないため、スケジュール管理表等があれば良い。

(全委員からの結びにあたっていただいた所見)

■岩倉市は愛知県で一番面積が小さい自治体であり、適正なサイズだからこそ市民参加がしやすいと思われる。市民からの意見に対し、最終的には結論を出す必要があるが、その中でもより多くの人に納得してもらうことが重要である。計画策定はこれで終わりであるが、市民ワークショップなどを実施し納得していただきながら、再配置というマネジメントを今後も継続して実施していく必要がある。

■今後は、社会情勢等の変化に弾力的に対応しつつ、中長期に渡って本計画を計画的に見直していくことが重要である。今後も、コンパクトシティという小さい街なりの魅力を発信しながら、取り組んでほしい。

■今後の再配置にあたっては、全国的な先進事例を意識しながら、人口減少等といったマイナス部分を補完し、充実できるような取組みを推進してほしい。

■40年先の目標が達成できるよう、最後まで取り組んでほしい。

■人口減少等に伴う税収減等により財政破綻しないよう、本計画に基づいて実行してほしい。

■岩倉市は小さい街であるが、郷土を誇れるものがたくさんあるため、住んで良かったと思う街づくりを期待したい。五条川の桜、散策道、魅力的な橋、山車文化など、これらを発信していけば訪れる人が増加すると思われる。マラソンや市民運動会では、各区から応援団が

来るなど、多世代が一丸となって取組んでいる。まちづくりはひとづくりであり、人が育たなければ将来はないと考えている。保育園の件では、母親が子どもを守るために必死に訴えており、保育園から母親同士の交流が続き、それがまちをつくっていることが根本にあることを意識してほしい。

■市の財政状況など、委員に就任していなければ気付かないような課題に気づくことができた。市民全員の意見を全て聞くことは難しい中で、良い案を検討しつつ今後も取組んでほしい。

■本計画は、保育園の議論が途中で入り少し混乱はあったが、全体としては良くまとまっていると思われる。来年度以降は行政課が主体となり、夢を追いかけるような街づくりを目指してほしい。

■ユニバーサルデザインでは、その場で出来る限り全ての人のことを考えることから始まる。パブリックコメントで様々な意見が出たところであるが、まずは今後、何をしていくべきかをしっかりと検討することが重要である。多くの方の意見を聞きながら、岩倉市なりのやり方で計画を進めてほしい。